

2017年度 「学術研究基礎」シラバス

不定期（夏学期の金曜日6～7限×4回）（18時40分～21時35分）

企画・担当： 瀬田 史彦・寺田 徹

□講義の目的

学術論文（修士論文、学会の査読論文など）の執筆に必要な基本的な知識・技術を習得し、同時に、仮説の設定、論理性、独自性（オリジナリティ）など、学術論文の執筆の際に理解することが不可欠な要素・概念について学ぶ。

□日程：以下の4日（いずれも金曜日）の6～7限 18時40分～21時35分

第1回：5月12日（金） 瀬田 史彦

- ・学術論文に必要な3つの要素
- ・仮説（目的）の重要性
- ・論理的であるとはどういうことか
- ・独自性・オリジナリティ

第2回：5月26日（金） 寺田 徹

- ・まちづくり研究の範疇
- ・計画論的研究の特徴
- ・面白い研究とは
- ・論文レビューの方法論

第3回：6月2日（金） 近藤 早映（特任助教）

- ・文献の検索方法
- ・論文執筆の作法
- ・どんな研究・調査方法があるか（ヒヤリング、アンケート、データ分析、…）

第4回：6月9日（金） 瀬田 史彦（原田コース長も出席予定）

- ・学生から研究案の発表および教員による講評

□理解すべき事項

- ・学術的に意義のある研究・論文とは何かについて考え、基本的な概念を理解する。
- ・学術論文の執筆の作法・手法や、研究の進め方の基本を理解する。

□成績評価

出席と、講義中に課される発表課題によって評価する。

（以上）